



第451号

2025年 1月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行



2025年 通常聖年 「希望は欺かない」

教区ホームページ

福音の ひびき

1月の説教者

1日 神の母聖マリア 早川 努 (津島愛西教会)

5日 主の公現 ナジ・エデルベルトウス (恵方町教会)

12日 主の洗礼 伴 八郎 (南山教会)

19日 年間第2主日 ファミニアガオ・フェルデメール・バカリサ (東海・長浦教会)

26日 年間第3主日 シュエ・ルイ・ジュン (鳴海教会)

2025年 新年のあいさつ 希望の巡礼者となって

聖年をともに歩みましょう



教区司教

松浦 悟郎

2025年1月1日、私たちは新しい年を迎えました。ちょうど一年前の1月1日、能登半島で大地震があり、大変な状況の中で新年を迎えたことを昨日のことに思いたします。

思えば昨年は、能登の被災者のために力をつくした一年だったと思います。苦勞も多かったですが、同時に全国の人たちからの多くの人の温かさにも触れ、励まされました。

一方、世界では終わる気配のないウクライナでの戦争に加え、ガザで毎日繰り返されるあまりにも悲惨な状況に触れる度に、「人間はどこまで残酷になれるのか」(坂本龍一)と思わざるを得ません。また「国際社会をもつてしても、これを止めることができない」という現実

の前に、これからの世界を憂える人も多いたと思います。

こうした中、昨年5月、教皇フランシスコは2025年の通常聖年に向かって大勅書『希望は欺かない』を発表しました。名古屋教区も、昨年12月29日の聖家族の祝日に、全世界の教会と心を合わせて聖年という希望の道を歩み始めました。混んとした世界情勢だからこそ、私たち教会は失望することなく、福音の希望を携えて人々と共に平和の道を歩みたいと思えます。教皇フランシスコは大勅書の中で次のように語っています。

「悪と暴力にはかなわないなどと思いきも誘

惑に陥らないよう、世にあるよいものすべてに注意を向ける必要があります。まさしく、救ってくださる神の現存を必要とする人間の心の渴望を含んだ時のしるしは、希望のしるしへと変えられることをのぞんでいるのです」(7)

この中にあるように、主の祈りの中でてくる「私たちが誘惑に陥らせず」という意味は、何よりも、希望を失い、絶望する「誘惑」に他ならないのです。希望というのは、必ずしも今の悪い状況が良くなるということではないかもしれせん。たとえ、悪い状況に改善が見られないとしても、私たちの希望はゆるぎなくとどまります。聖年のロゴマークの中に、人生の波に揺られているわたしたちが描かれています。私たちがつかまつている十字架の下は「錨(いかり)」です。どんなに大波が押し寄せても、キリストという錨がある限り沈むことはありません。大勅書では、「わたしたちは、キリストにおいて生きて、罪と恐れと死に打ち勝つことができるようにする恵みである希望に、しっかりと根を下ろしているからです」(25)と語っています。イエスの母マリアは、この希望に支えられて「はい」と答えてイエスに従い、「愛をもつてささげられた激しい苦悩にさいなまれる中で、私たちの母、希望の母となられたのです」(24) 通常聖年の旅を通して、この希望を信仰によつて、生き方の確信につなげていきたいものです。この一年が皆さまにとって、実り多き恵みの年となるように心から祈っています。

～名古屋教区指定巡礼教会一覧～

カトリック布池教会

〒461-0004 愛知県名古屋市東区1-12-23
TEL: 052-935-6305 FAX: 052-932-8190
開門: 7:00~21:00
ミサ: 平日7:00

主日①18:30/②9:30/18:00(第3(日)、第1・4(英)、第2・5(タ))

カトリック豊橋教会

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通2-7
TEL/FAX: 0532-52-3897
開門: ①10:00~19:00/②③6:30~19:30/④9:00~20:30/⑤9:30~20:00
ミサ: 平日②③6:30

主日①19:00/②8:00/10:00/第1④14:00(ベ)/第1・3⑤17:00(ポ)/第2②15:00(タ)/第4④15:00(英)/第4⑤17:00(ス)

カトリック大垣教会

〒503-0018 岐阜県大垣市西之川町1-313-1
TEL: 0584-78-5329 FAX: 0584-78-5470
ミサ: 主日①9:30 第1~第4④14:00(タ)/第2・4④18:00(ポ) 第4⑤18:00(ス) 第2・5⑤14:00(ベ)/第2⑤19:30(英)

主税町記念聖堂

〒461-0018 愛知県名古屋市東区主税町3-33
TEL: 052-935-2223(名古屋教区本部事務局まで)
開門: ①・③・④9:00~17:00
ミサ: 第1④10:00~

カトリック輪島教会

〒928-0001 石川県輪島市河井町十三部29-4
TEL/FAX: 0768-22-2087
ミサ: 主日第2④14:00/第4④14:00

カトリック七尾教会

〒926-0813 石川県七尾市南藤橋町子部59
TEL: 0767-52-0710
ミサ: 主日④10:00

カトリック金沢教会

〒920-0962 石川県金沢市広坂1-1-54
TEL: 076-264-2536 FAX: 076-264-2577
開門: 6:00~20:00
ミサ: 平日7:00

主日①18:00、②8:30/10:00(第5は国際ミサ)/18:00/第4④16:00(英)

カトリック福井教会

〒910-0004 福井県福井市宝永3-2-3
TEL: 0776-25-4106 FAX: 0776-22-0888
開門: 6:00~20:00
ミサ: 平日②③7:30、平日④⑤9:00

主日①18:00/第1~第4④9:00/第5④10:00/12:00(英)/第4⑤19:30(ポ)

カトリック富山教会

〒930-0064 富山県富山市山王町5-10
TEL: 076-421-3508 FAX: 076-421-3553
開門: 6:00~20:00
ミサ: 平日6:30/④10:00

主日①18:00/②10:00、第2②14:00(英)

2024年度一粒会特別企画

『ザビエル祭(11月23日)に

子どもたちを招待』実施報告



今年度の一粒会活動計画に特別企画を立ち上げた。神学院・神学生のことを名古屋教区内の子供たちにもっと知ってもらおうとの目的で、2024年11月23日開催のザビエル祭に子どもたちを招待しようとして、2019年に企画したが、コロナ感染パンデミックにより中止となり、それから4年後の実施となった。

2024年2月「ザビエル祭招待企画準備委員会」が発足し、5月19日一粒会委員総会にて募集用ポスター、参加申込書を教区内全教会に配付した。申込人数は28人。子ども(12歳~17歳)8人、青年(26歳~31歳)3人、保護者7人、一粒会スタッフ8人、松浦悟郎司教、伊藤大有神父。中でも瀬戸教会からは子ども5人、保護者2人、計7人の申し込みがあった。



2024年2月「ザビエル祭招待企画準備委員会」が発足し、5月19日一粒会委員総会にて募集用ポスター、参加申込書を教区内全教会に配付した。申込人数は28人。子ども(12歳~17歳)8人、青年(26歳~31歳)3人、保護者7人、一粒会スタッフ8人、松浦悟郎司教、伊藤大有神父。中でも瀬戸教会からは子ども5人、保護者2人、計7人の申し込みがあった。

主体の子ども8人を3グループに分け、各グループに青年1人をリーダーとして付け、神学院内の体験をグループで行動するようにした。全員に課題を設け、神学院のこと、神学生について、意識を深く持つて参加してもらう工夫をした。大人は、自由体験にして、全員感想文を書いてもらう。

ザビエル祭2024のテーマ「すべての人を一つにしてください」神学院に到着した時は、既に大勢の人で神学院の聖堂、庭は埋め尽くされていた。10時から中村倫明長崎大司教主司式ミサ、その後各企画、軽食販売開始、カーサ、その後各企画、カーサと続き、12時半より中村大司教の講演。講演場所も聖堂だが、常に大勢の人で埋め尽くされた聖堂には、全く入れなかった。神学生企画の中には、「院内ツアー」など、興味ある企画がたくさんあった。14時半より閉会式が行われた。

(一粒会委員長 西村由美子)

アミソラ ソフィア シモネディアス 高校1年 瀬戸教会

今日は、瀬戸教会でいつもお世話になっている皆さんと小さいころからの教会のお友達と、名古屋で「初めまして」の兄弟姉妹の皆さんとザビエル祭に参加させていただきました。

初めて行くところで緊張もありましたが、教会の仲間と新幹線に乗って行く「旅」は新鮮な気持ちでした。普段は入ることができない神学校というエリアに入れていただき、とても光栄な思いでした。

今回の課題は、「5人の神学生にインタビューをしよう」でした。

私がインタビューをしたのは、東京教区出身の今井克明さんでした。今井さんのお話では、「神学生はのびのびと、それぞれの学びのある学科で司祭になるために、毎日がんばって勉強をしている」ということでした。直接神学生とお話をさせていただき、とても気さくで、丁寧な対応で答えてくださいました。毎日神様のもとで真直ぐな気持ちで学んでいるからなんだというなあと感じました。今回お話を聞いた一部の神学生の皆様だけでも、多種多様な視点や考えからのお話しでした。これからの私たちの教会がどのように盛り上がっていくのかなと楽しみにになりました。

加藤愛穂(かとうまなか) 中学1年 瀬戸教会

ザビエル祭に行きたいと思ったきっかけは、教会に貼ってあるポスターでした。もっとキリスト教やお祈りについて知りたいなあと参加しようと思いました。私は、教会にしか行ってないのでもっと知識をつけたい。

神学院5人に質問をする課題を与えられていました。その中の3人にインタビューをした内容が心に残っています。近藤真理生さんは「どんな勉強をしているのか」「どうしたら暗唱をなくせるのか」を詳しくお話ししてくださいました。森翔真さんは教区と大司教区との違いについてとてもわかりやすく説明してくださいました。丹生信雪さんは勉強をする期間が7年あること

とを細かく話して頂きました。私は今回のザビエル祭を通してもっと知りたいことができて、また機会があれば神学生の皆さんに質問をして知識を増やしたいと思いました。

高橋達也 聖心教会

皆さん「推し活」という言葉を知っていますか？推し活とは、自分が好きなアイドルや俳優キャラクターを「推す」すなわちさまざまな形で応援することのようです。推し活とは、どのようなことをするのでしょいか？自分の推しが出てくる作品の鑑賞やグッズの購入、推しゆかりの地を巡る「聖地巡礼」なども、推し活にあたります。なぜ推し活をするのでしょうか？日々のストレスや疲れを癒してくれる、励まされたり元気になる、元気の源のようになります。そんな推し活を見に行かために、一粒会のスタッフ、中学生、松浦司教、伊藤神父と、ほぼ始発の新幹線に乗り東京の日本カトリック神学院に行きました。

練馬区の閑静な住宅街の広大な敷地にひっそりと神学院がありました。着いたころには、聖堂内へ入りきれず、溢れた人のために中庭が開放されており、我々は中庭からミサに参列しました。ミサ後、近隣教会のボランティアによる物販やシス

ターのコーラスなど賑やかな時間が流れており、わたしが楽しみにしていたスケジュールの一つの「中村倫明大司教様の講話」が始まりました。

「普段は赤いミトラをかぶっていますが、今日はオレンジの帽子をかぶりますね。」ん？何だこれは？説教や黙想会といったジャンルではなく「漫談」でした。聞いているすべての会衆が大司教様に注目しており、後ろの方から眺めていたわたしも背伸びをしたり、スマホで動画を取り始めています。

「神父様は結婚していませんが、お父さんお母さんが喜ぶから神父様になってね。」と伝えまします。すべての人を一つにしてください。今回素晴らしい体験をさせてもらいました。そしてみなさん来年ザビエル祭に行きましょう。



ミサの様子



講演する中村大司教



美濃・尾張キリシタン

顕彰ミサと講演

11月4日(月・振)にカトリック美濃加茂教会で「美濃・尾張キリシタン顕彰ミサと講演会」が行われた。参加者は60人



を越え、聖堂はすぐに一杯となった。10時から南山大学教授のアンジェラ・ヴォルペ氏の講演が始まった。美濃・尾張の宣教師コンスタンチノをテーマに話が進められ、コンスタンチノは、どこで生まれ、いつ洗礼を受け、何をしていた人物か、美濃・尾張での宣教活動などが紹介された。

講演をしたヴォルペ氏も時間が足りなくて話しきれない様であった。講演後、少し休憩をはさんで、浅井神父の司式で「美濃・尾張キリシタン顕彰ミサ」が行われ、ミサ後、昼食となった。昼食中は参加者の分かち合いとなり、講演中には質問できなかったコンスタンチノのことなどをヴォルペ氏や浅井神父に質問する人もいた。

昼食後、「塩」の顕彰碑に移動し、この地の殉教者たちのために共に祈り、その後、甘露寺の「硯石」を見学してこの日の解散となった。

私たちは、この日学んだことを忘れてはならない。遠い昔に、コンスタンチノという人がいて、キリスト教の宣教活動をしていただいても立派な人だったというところで終わってはならない。コンスタンチノの名前や亡くなった時期は不明でも、確かに花正の地で熱心に宣教し、祈りを通して神様のみ旨をよく理解して、イエスの教えを実践し、イエスに従った信仰生活を送っていた彼の生き方から学びたい。

(殉教者顕彰委員 海付順雄 熱田教会)

大切な家族・友人のための追悼ミサ

苦しみの中で自死した人々に、神の憐れみといつくしみを願う



名古屋教区カトリック福祉委員会主催の「第3回大切な家族・友人のための追悼ミサ」が11月16日、カトリック瀬戸教会で行われた。「死者のための祈り」、ロザリオ一連、黙祷の後、富山、岐阜、愛知各所から50人以上が参列し、ミサが捧げられた。司式は瀬戸教会のニコラス・スワイアテック神父とカトリック福祉



委員会担当司祭の山野聖嗣神父(港教会)。説教の中でニコラス神父は「イエス様が十字架上で亡くなられた時、マリア様はとても悲しまれました。わたしたちの親類・知人など大切な人がどんな理由であれ亡くなることはとても悲しいことです。マリア様もわたしたちの側で同じように悲しまれています。マリア様の取り次ぎを願い、慰め

を求めることは大切なことです」と語られた。ミサの最後に山野神父は「誰ひとり進んで自らのいのちを断つ人はいません。精神的に、病によってそうさせるのです。その方々のために祈ることは尊いことです」と結んだ。ミサ後、別会場で分かち合い(茶話会)が行われた。

「教区ニュースでこのミサのことを知り、本日のミサに参加して心が救われた思いがした。」「神は、私たちの心や祈りを必ず受け取り、聞き入れて下さることを信頼して、今後もこのミサを続けていきたい。」などの声がかれた。

どのような事情にしろ、大切な家族を突然失い、喪失感と自責の思いに耐える人たちのため

に、ミサの準備から分かち合いまで、瀬戸教会信徒会の協力が大きかった。そして教区でも、あらためて祈り呼びかけることが福音となる。

松浦悟郎司教の挨拶文の言葉

「カトリック教会は長い間、自死した人に対して寄り添う姿勢が欠けていたことは事実です。神は人間を、関係存在として、すなわち共に生きるようにつくられました。だからこそ、そのいのちを個人の問題だけにするのではなく、共同体として支え合い、育んでいく社会にしていくなければなりません。」

今日、自死した人々とその遺族の方々のために祈るとともに、その決意を新たにできればと願っています。

(瀬戸教会 山本雅徳)

第19回 AJU自立の家

ワインフェスタ

日本ワインを楽しもう

AJU自立の家主催の恒例のワインフェスタが多治見修道院で、2024年11月4日に行われた。11月にも関わらず、暑い日差しと気温の中、屋外でワインを飲むには本日に最高の一日であった。来場者数も多く、



小牧ワイナリー(AJU自立の家のワイン製造所)のワインは、多くの人から「美味し」な人気は、KOMAKI Blanc、ローズ・シオター。このワインは、完熟の青リンゴや洋梨のような香りとともに、コンポートのように少し火入れしたフルーツのトロツとした甘い香りと味の個性を生み出すが、その個性が生かされ、評価に繋がったのではと思う。

また、当日限定の2024新酒は、8月下旬頃に多治見と小牧の畑から採れた葡萄をブレンドして醸造した。当日は、かなり暑い中でのフェスタとなったため、キンキンに冷えた微発泡の2024新酒には、注文が殺到していた。

広い多治見修道院の葡萄畑で、心ゆくまで美味しいワインと料理を楽しむ参加者の喜びの姿は、今後の活動に一層大きな励みを与えてくれた。

(小牧ワイナリー スタッフ)

2025年 カトリック名古屋教区

新成人(二十歳)と共に祝う

教区新年の集い

2025 1.12 [日]

主司式: 松浦 悟郎 司教

場所: カトリック布池教会 大聖堂

14:00~ ミサ

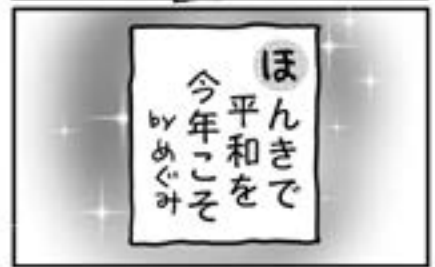
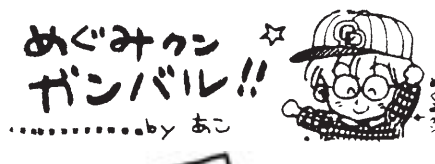
15:30~ 茶話会・ミニバザー(地下ホール)

1月の教会暦

1日(祝) 祝神の母聖マリア(祭)
2日(木) 世界平和の日
聖大バジリオ 聖グレゴリオ
オ(ナジアンソスの)司教
教会博士
主の公現(祭)
主の洗礼(祝)
聖アントニオ修道院長(記)
18日(土) 25日(土)
キリスト教一致祈禱週間
年間第2主日
聖アグネスおとめ殉教者(記)
24日(金)
聖フランシスコ・サレジオ
司教教会博士(記)
25日(土)
使徒聖パウロの回心(祝)
年間第3主日(神のことは主日)
世界子ども助け合いの日(献金)
28日(火)
聖トマス・アクイナス司教
教会博士(記)
31日(金)
聖ヨハネ・ボスコ司祭(記)
2月の主な教会暦(主日・祭日など)
2日(日) 主の奉獻(祝)
9日(日) 年間第5主日
16日(日) 年間第6主日
23日(日) 年間第7主日

教区行事予定

1月
6日(月) 教区事務所仕事始め
11日(土) 信徒協役員会/典礼委員会
コアミーティング/宣司評
運営委員会*
12日(日) 東山教会堅信式*/新成人



1月
9日(木) 常任司教委員会 会議
13日(月) 祝 28日(火)
司祭養成研修会(フィリピン)
2月
6日(木) 常任司教委員会 会議
7日(金) 終身助祭委員会
17日(月) 21日(金) 臨時司教総会

教区行事以外の松浦司教予定

18日(火) カトリック看護協会例会
22日(土) 濃尾B会議
27日(木) 司祭評議会*

14日(火) 樹の会/正義と平和委定例会
15日(水) カリタス福祉委員会
16日(木) 月集*
カトリック看護協会例会
30日(木) 顧問会*/司祭評常任委員会*
2月
1日(土) 殉教者祭(高山右近・金沢教会)
2日(日) 春日井教会献堂式ミサ*/宣教司牧評議会*
5日(水) 濃尾B司祭会議
8日(土) 殉教者委定例会/典礼委員会コアミーティング/信徒協役員会/福音化養成委員会*
9日(日) 安城教会堅信式*
11日(火) 祝樹の会/正義と平和委定例会
12日(水) カリタス福祉委員会
13日(木) 顧問会*/月集*
16日(日) 南山教会堅信式*/愛岐B会議

告知板

1月の炊き出し
木9日ひまわり・南山・樹の会
16日聖霊・南山・樹の会、23日城北橋、30日布池
金10日一宮、17日布池、24日長浦、31日恵方町

キリスト教一致祈禱週間 1月18日から25日まで
「すべての人を一つにしてください」という最後の晩餐でのイエスの祈りに耳を傾けるわたしたちはまた、折にふれて目に見える一致を示すように求められています。それは、ともに祈り、支え合うことによって、神がすべての人の救いのためにイエスを遣わしたことを「世界が信じるため」です。(ヨハネ17・21-23参照)
世界子ども助け合いの日・献金 1月の最終日曜日
「世界子ども助け合いの日」を呼びかける教皇庁児童宣教事業は、幼子イエスの保護にゆだねたいとの希望から、聖なる幼子の会または幼子宣教会とも呼ばれます。その目的は、「子どもたちを助けている子どもたち」をモットーに献身する、キリスト者の子どもたちの運動を促進し、生み出すことです。

建設費の返済に協力を
671件 35,993,214円
目標額 40,000,000円 (11月末現在)
達成率 約90.0%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

第18回 ホスピス聖霊講演会
テーマ ホスピスケアを体験して伝えたいこと
～「ありがとう」と言われて、看護はよろこび～
講師 水野敏子氏 えふてーぶるかngo塾代表
日時 2025年2月22日(土)
講演 13:30～15:00 (その後、30分の質疑応答) *入場13:00～
会場 聖霊病院2階 聖霊ホール
対象 一般
定員 100名 定員になり次第締切
申込み方法 はがき、封書、またはEメールに、氏名・住所・電話番号を記入の上送付。
・定員を越える場合は連絡有り。
締切 2月14日(金) 必着
・この講演会は、後日聖霊病院ホームページより配信予定。
申込み先および問合せ先
〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係
でんわ (052)832-1181 (内線3316)
Eメール katosha@seirei-hospital.org
主催 聖霊病院 ホスピス聖霊推進委員会
後援 ホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」
QRコードからも申込み可

信仰の深みへと変容する読書会
濃尾 キリスト教史
「キリスト教信仰のあかしをたどる」
キリシタン時代から現代につづく信仰
開催日 : 2025年1月13日(月・祝) 2月1日(土) 3月8日(土)
開催時間 : 13:30～16:00 (ロザリオの祈り 分ち合い)
勉強会費用 : 資料代として500円(お茶付き)
指導講師 : 名古屋教区司祭 浅井太郎神父
開催場所 : カトリック名古屋教区 主税町教会 信徒会館 1階
住所 : 〒461-0018 愛知県名古屋市東区主税町3-33
地下鉄名城線「名古屋城」駅下車 徒歩15分
地下鉄桜通線「高岳」駅下車 徒歩10分
市バス「清水口」「白壁」バス停より徒歩5分
◇講義は「読書勉強会」形式です。
『まるちれす』を読み、キリシタン史の基盤、知識を共有し、引き続き『あかしする信仰』を読み進めます。
使用する本① 『まるちれす』『まるちれす(指導書)』
子どものための教会史・長崎
カトリック長崎大司教区カテキスタ養成委員会編
② 『あかしする信仰 東海・北陸のキリシタン史跡巡礼』
名古屋教区殉教者顕彰委員会編
主催 名古屋教区女子修道会在俗会連盟 協力 名古屋教区殉教者顕彰委員会

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—
日時 2025年1月18日(土) 14:30～16:30
テーマ サムエル記の全体構造とメッセージ③
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)
以降の予定 2月15日(土)、3月15日(土)
【静修の集い】
日時 2025年3月8日(土) 10:00～15:00
講話担当 今泉健神父(カルメル修道会)
スケジュール 講話①、ご聖体顯示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。
どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

お知らせ
大好きな能登半島
応援チャリティーコンサート
～ピアノ&パイプオルガン～
日時 2025年2月2日(日)
開場13:30、開演14:00、終了16:00
会場 石川県立音楽堂コンサートホール
出演 ピアノ作曲&パイプオルガン即興 林 晶彦
オルガニスト 黒瀬 恵(金沢文化活動賞受賞)
特別ゲスト 山元 加津子(作家/映画監督)
司会 SUZU
入場料 被災者・障害者・高校生以下は無料
一般の方は入口にて任意の募金をお願いいたします。
募金は全額、能登半島地震義援金として寄付させていただきます。
問い合わせ先 上瀧 080-3289-0065
mail: du1717aikentom@gmail.com
*申し込みは不要です。

希望は欺かない
—二〇二五年の通常聖年公布の大勅書の紹介—
2024年12月24日にバチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれて開幕し、2026年1月6日の主の公現の祭日に同扉が閉じられ閉幕する通常聖年となる。この聖年を公布する大勅書の日本語訳が刊行された。聖年を、神の恵みから希望を受け、神へと向かう歩みを強めていただく機会とするとともに、困難にある多くの人に希望をもたらし者となるよう招く。教皇庁内教院の免償に関する教令を併録されている。なお、原文の発表年月日2024年5月9日である。